

2013年7月24日

この春専門学校に進学した入学者の入学校評価

【2013年度 全国専門学校共同入学者調査】

・多くの学生が、納得し自信を持って専門学校に進学していることが判明！

～授業内容、先生、就職サポート、そして学校自体の評価にいたるまで、入学校を非常に高く評価して入学している～

・意外と高くない職業決定度

～専門学校入学者の半数は、職業を決めきれない傾向にある～

一般社団法人大阪府専修学校各種学校連合会（大阪市都島区／理事長 福田益和）は、新学期開始前後の3～5月に、「全国専門学校共同入学者調査」を実施いたしました。本調査は専門学校入学者による進学活動の実態把握と、専門学校教育の質の向上に役立てていただくことを目的としています。進路選択や職業教育についての調査研究を行う株式会社応用社会心理学研究所の協力のもと、大阪府専修学校各種学校連合会が企画し、2009年度から実施しています。今年度は全国70校で、**全国の専門学校入学者の約3.5%（※前年度入学者数より推計）にあたる9,232名の学生**に対して調査を行うことができました。専門学校の進学者を対象とする大規模調査としては他に例がなく、画期的な取り組みとして注目されています。

ここに調査結果の要旨をご報告いたします。よろしくお取り計らいのほどお願い申し上げます。

<主な調査結果>

【専門学校入学者の進学活動】

専門学校入学者の入学校評価

- 入学者の大半が専門学校を積極的に評価して進学を決定 P. 3
- 約9割の入学者が、入学校を「人に勧めたい」と感じている P. 4
- 入学校の学習設備に対し、8割以上の学生が「充実」と感じ、カリキュラムや授業内容についても8割以上が「魅力的」と評価 P. 5
- 先生についても8割以上が「熱心」で「親しみやすい」と評価 P. 6
- 就職実績やサポート体制についても、8割以上が高評価 P. 7

【専門学校入学者の職業意識】

『職業決定度』

- 仕事を「はっきり」または「ほとんど」決めている学生はおよそ半数、残りの半数は、まだはっきりと決めきれない P. 8

『職業決定度』の属性による違い

- 新卒／既卒では、既卒の方が職業を決めている割合は高い
性別による差はそれほど大きくない P. 9

『職業決定度』の推移

- 年々先送り傾向にある職業決定 P. 10

※「全国専門学校共同入学者調査」では86項目について詳細な調査を行っており、本調査結果では、その中の一部を紹介しています。

■調査概要

企画名： 専各連合会特別企画『2013「募集」戦略パッケージ 全国専門学校共同入学者調査』

企画： 一般社団法人 大阪府専修学校各種学校連合会／株式会社 応用社会心理学研究所

調査期間： 2013年3月～5月

調査対象者：2013年度の全国の専門学校入学者 9,232名（うち有効回答者数8,857名）
全国の専修学校／各種学校 70校

調査方法： 調査は無記名で実施し、各学校にて入学前もしくは入学直後の時期に、質問紙を郵送、あるいはオリエンテーション時などに配布・回収

調査内容： 設問項目数86項目

参画校全体データの抽出方法：

専門学校入学者全体の傾向を正確に把握できるように、以下の①～③のデータ処理を行った結果抽出された2,300名を分析対象にしています。

- ①各学校から200サンプルを上限にランダムに抽出し、規模の大きい学校の偏りを是正。
- ②回答精度が低いなど、分析に適さないサンプルを除去。
- ③「平成24年度学校基本調査」（文部科学省）の男女別・分野別入学者比率に合わせてサンプル割付を行い、性別・分野による偏りを是正。

■お問い合わせ先（企画事務局）

一般社団法人 大阪府専修学校各種学校連合会

担当：副理事長 重里（じゅうり），進学対策委員長 谷本（たにもと）

〒534-0026 大阪市都島区網島町6-20 大阪府私学教育文化会館103号室

TEL：06-6352-0048 FAX：06-6352-7553

mail：info@osaka-senkaku.or.jp URL：http://osaka-senkaku.or.jp

※リリース内容については、下記までお問い合わせください。

株式会社 応用社会心理学研究所（アспект）

担当：三木（みき），古谷（ふるや）

〒540-0031 大阪市中央区北浜東1-8 北浜東森田ビル5F

TEL：06-6941-2171 FAX：06-6941-2081

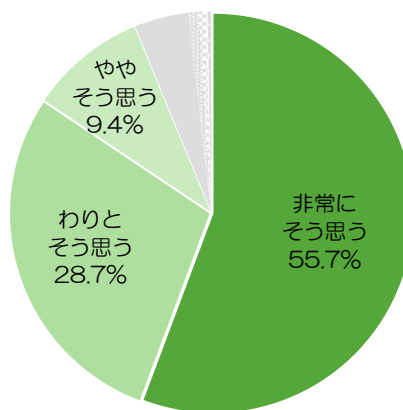
mail：o-senkaku@aspect-net.co.jp URL：http://www.aspect-net.co.jp

入学者の大半が専門学校を積極的に評価して進学を決定

- 「入学校にぜひ入学したい」と思っていた学生は、「非常にそう思う」「わりとそう思う」を合わせると8割を超える。
- 入学校に対する評価についても、同様に「非常にそう思う」「わりとそう思う」を合わせると8割を超える学生が「総合的に評価して良い学校だ」と回答しており、進学する専門学校を高く評価していることがわかる。

■入学校評価：本校（入学校）に、ぜひ入学したいと思っていた [単一回答]

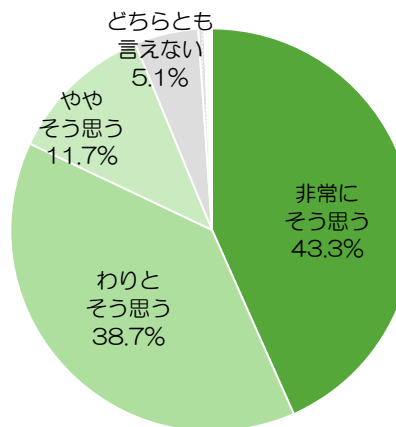
	人数	%
非常にそう思う	1281	55.7
わりとそう思う	660	28.7
ややそう思う	216	9.4
どちらとも言えない	101	4.4
ややそう思わない	19	0.8
あまりそう思わない	13	0.6
まったくそう思わない	3	0.1
不明	7	0.3
計	2300	100.0



※5%未満は非表示

■入学校評価：総合的に評価して、良い学校だ [単一回答]

	人数	%
非常にそう思う	997	43.3
わりとそう思う	890	38.7
ややそう思う	270	11.7
どちらとも言えない	118	5.1
ややそう思わない	11	0.5
あまりそう思わない	4	0.2
まったくそう思わない	1	0.0
不明	9	0.4
計	2300	100.0



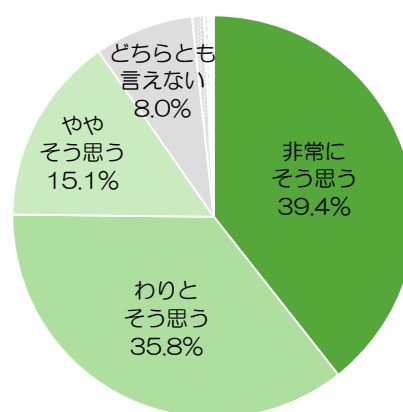
※5%未満は非表示

約9割の入学者が、入学校を「人に勧めたい」と感じている

- 学校全体に活力を感じた入学者は、「非常にそう思う」「わりとそう思う」を合わせると7割を超える。
- さらに、「この分野に興味を持つ人がいれば、本校を勧めたい」と回答した入学者は、「非常にそう思う」「わりとそう思う」のみでみても7割を超えている。入学校に対する評価の高さを裏付けるとともに、自信をもって専門学校に進学した学生が多いということもうかがえる。

■入学校評価：学校全体に活力を感じる [単一回答]

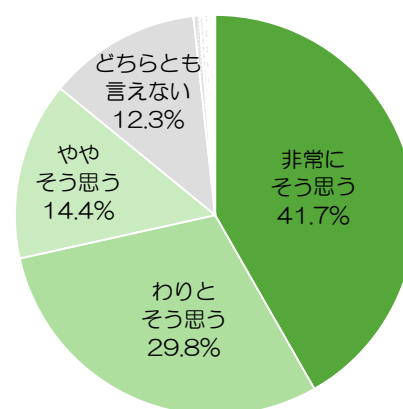
	人数	%
非常にそう思う	906	39.4
わりとそう思う	823	35.8
ややそう思う	348	15.1
どちらとも言えない	183	8.0
ややそう思わない	22	1.0
あまりそう思わない	8	0.3
まったくそう思わない	1	0.0
不明	9	0.4
計	2300	100.0



※5%未満は非表示

■入学校評価：この分野に興味を持つ人がいれば、本校を勧めたい [単一回答]

	人数	%
非常にそう思う	960	41.7
わりとそう思う	685	29.8
ややそう思う	331	14.4
どちらとも言えない	284	12.3
ややそう思わない	11	0.5
あまりそう思わない	7	0.3
まったくそう思わない	9	0.4
不明	13	0.6
計	2300	100.0



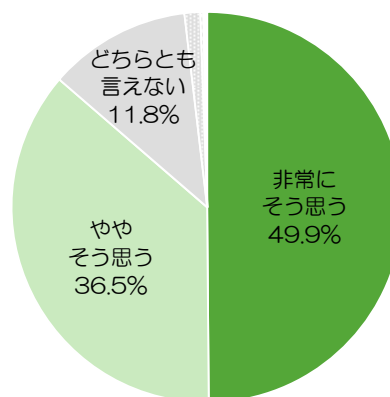
※5%未満は非表示

入学校の学習設備に対し、8割以上の学生が「充実」していると感じ、カリキュラムや授業内容についても8割以上が「魅力的」と評価

- 専門学校は職業人としての知識や技能を身につけるために、必要な設備が整っている点特徴だが、入学者も、「非常にそう思う」「ややそう思う」を合わせると8割以上が「学習設備が充実している」と回答。
- カリキュラムや授業内容についても、「非常にそう思う」「ややそう思う」を合わせると8割以上が「魅力的」と答えており、入学校の教育内容についても、しっかりと評価して入学校を決定していることがわかる。

■入学校評価：学習設備が充実している [単一回答]

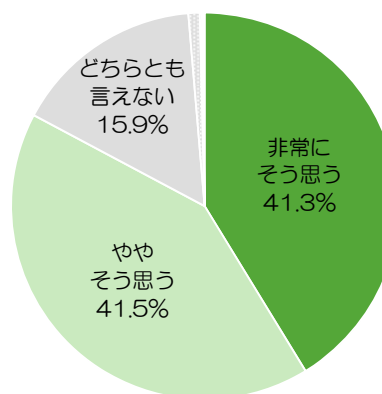
	人数	%
非常にそう思う	1147	49.9
ややそう思う	839	36.5
どちらとも言えない	271	11.8
あまりそう思わない	30	1.3
まったくそう思わない	6	0.3
不明	7	0.3
計	2300	100.0



※5%未満は非表示

■入学校評価：カリキュラムや授業内容が魅力的 [単一回答]

	人数	%
非常にそう思う	949	41.3
ややそう思う	955	41.5
どちらとも言えない	365	15.9
あまりそう思わない	22	1.0
まったくそう思わない	4	0.2
不明	5	0.2
計	2300	100.0



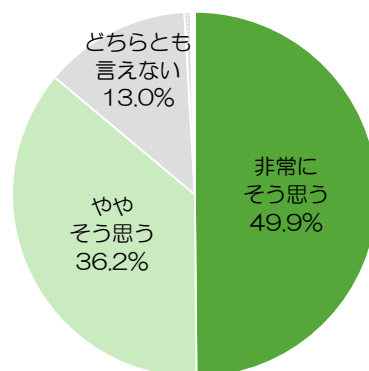
※5%未満は非表示

先生についても8割以上が「熱心」で「親しみやすい」と評価

- 先生については、「非常にそう思う」「ややそう思う」を合わせると8割以上が「熱心」と答えており、熱意を持って学生に接してくれると評価していることがわかる。
- 学生に対する対応も、「非常にそう思う」「ややそう思う」を合わせると8割以上の学生が「きちりしている」と答えており、進学活動中に受けた学校からの対応を評価して入学していることがわかる。

■入学校評価：先生が熱心 [単一回答]

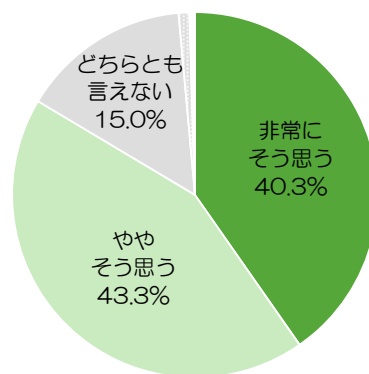
	人数	%
非常にそう思う	1147	49.9
ややそう思う	833	36.2
どちらとも言えない	299	13.0
あまりそう思わない	13	0.6
まったくそう思わない	1	0.0
不明	7	0.3
計	2300	100.0



※5%未満は非表示

■入学校評価：学生への対応がきちりしている [単一回答]

	人数	%
非常にそう思う	927	40.3
ややそう思う	995	43.3
どちらとも言えない	345	15.0
あまりそう思わない	22	1.0
まったくそう思わない	2	0.1
不明	9	0.4
計	2300	100.0



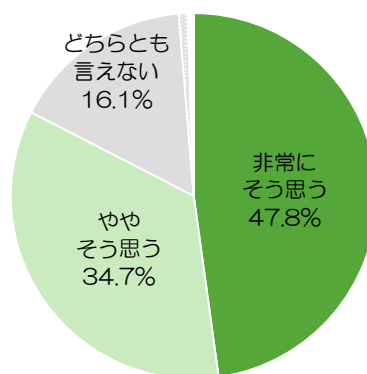
※5%未満は非表示

就職実績やサポート体制についても、8割以上が高評価

- 就職実績については、「非常にそう思う」「ややそう思う」を合わせると8割以上の学生が「実績が良い」と評価している。
- 就職を支援する体制についても「非常にそう思う」「ややそう思う」を合わせると8割以上の学生が、「しっかりしている」と評価しており、教育内容などと同様に出口である就職についても、評価していることがわかる。

■入学校評価：就職率や就職実績が良い [単一回答]

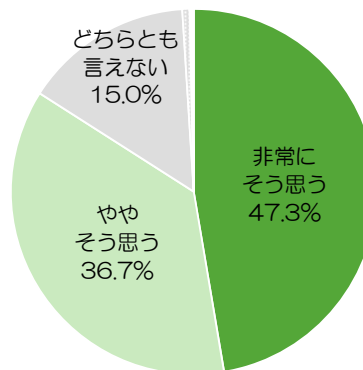
	人数	%
非常にそう思う	1100	47.8
ややそう思う	799	34.7
どちらとも言えない	371	16.1
あまりそう思わない	18	0.8
まったくそう思わない	5	0.2
不明	7	0.3
計	2300	100.0



※5%未満は非表示

■入学校評価：就職を支援する体制がしっかりしている [単一回答]

	人数	%
非常にそう思う	1089	47.3
ややそう思う	844	36.7
どちらとも言えない	344	15.0
あまりそう思わない	15	0.7
まったくそう思わない	3	0.1
不明	5	0.2
計	2300	100.0



※5%未満は非表示

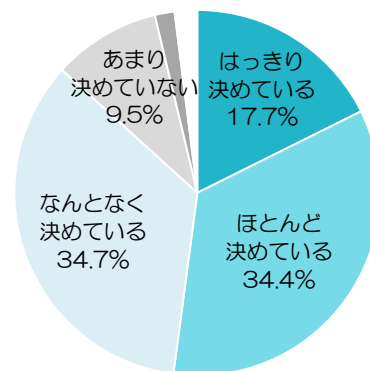
『職業決定度』

仕事を「はっきり」または「ほとんど」決めている学生はおよそ半数、残りの半数は、まだはっきりと決めきれていない

- 将来の仕事に対する決定度合いは、「はっきり決めている」「ほとんど決めている」を合わせると入学時点で5割強の学生が決めていることがわかる。逆に、5割弱の学生は、「なんとなく決めている」「あまり決めていない」「まったく決めていない」と答えており、入学時点で職業を明確にして専門学校に入学する学生もいれば、入学後に具体化していく学生もいるようだ。

■将来の仕事の決定度合い [単一回答]

	人数	%
はっきり決めている	406	17.7
ほとんど決めている	792	34.4
なんとなく決めている	797	34.7
あまり決めていない	219	9.5
まったく決めていない	40	1.7
不明	46	2.0
計	2300	100.0



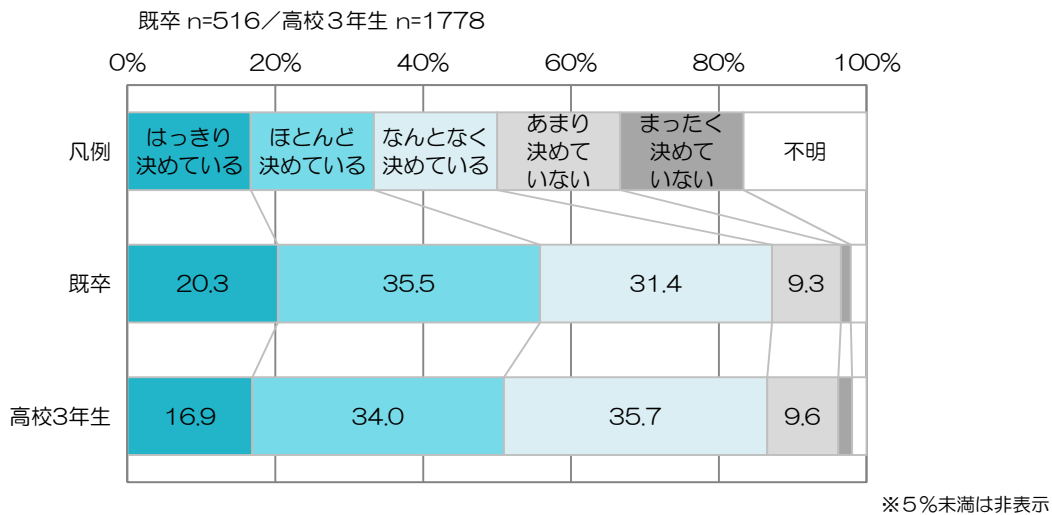
※5%未満は非表示

『職業決定度』の属性による違い

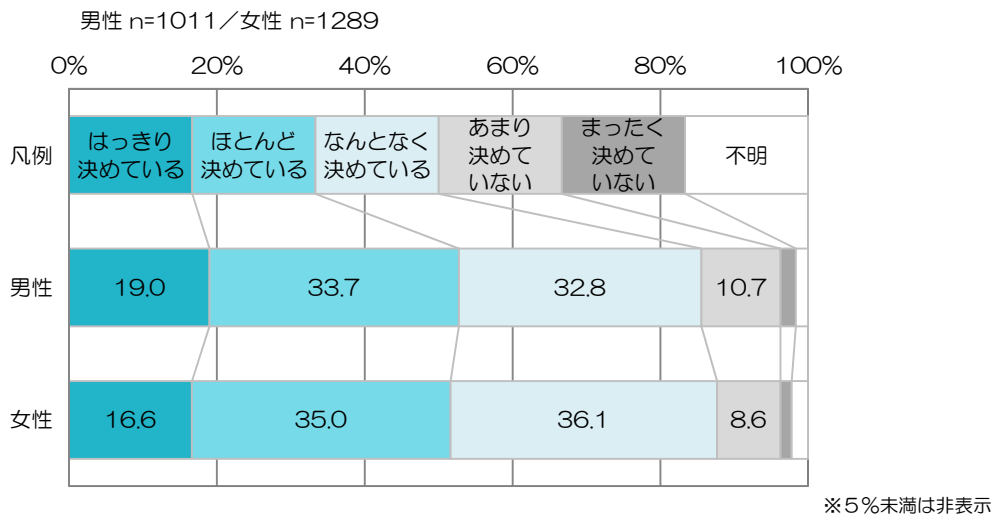
新卒／既卒では、既卒の方が職業を決めている割合は高い
 性別による差はそれほど大きくない

- 将来の仕事に対する決定度合いを、高校を卒業してすぐに入学した新卒の学生と、社会人、大学生など既卒の学生とを比較してみると、既卒のほうが約5.1ポイント高いことから、既卒の学生の方が職業をより明確にして入学する傾向があることがわかる。
- 男女で比較してみると、男性の方が女性に比べて「はっきり決めている」の割合が3.6ポイント高いものの、全体的にみて性別による差はそれほど大きくないということがわかる。

■将来の仕事の決定度合い 新卒／既卒別 [単一回答]



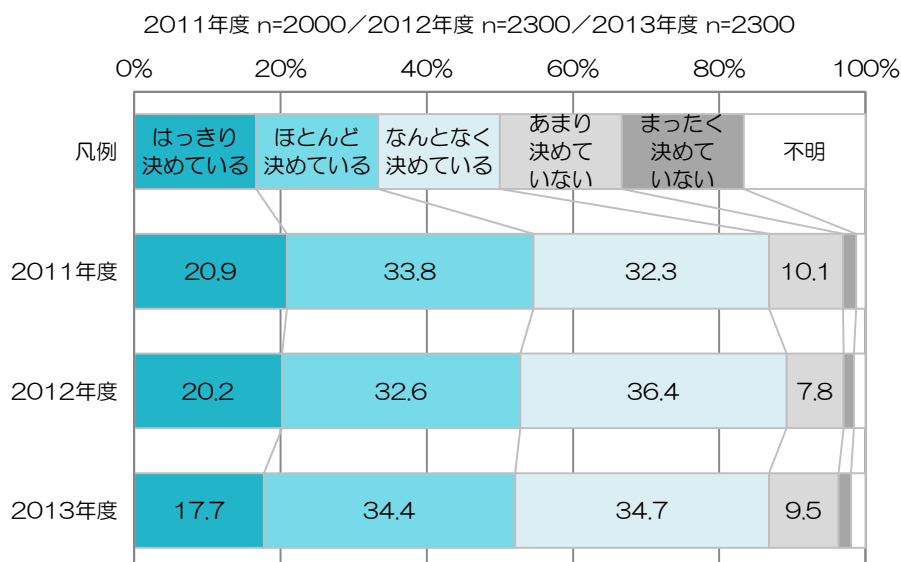
■将来の仕事の決定度合い 男女別 [単一回答]



年々先送り傾向にある職業決定

- 将来の仕事に対する決定度合いの推移を今年度を含む過去3年間で比較してみると、「はっきり決めている」「ほとんど決めている」を合わせた割合が年々少しずつ低下していることがわかる。意外なことに、専門学校に進学する学生たちについても、職業決定を先送りする傾向が進んでいる可能性がある。

■将来の仕事の決定度合い [単一回答]



※5%未満は非表示